

1972 - 2022

感謝のカタチ
tvk 50th

tvk(テレビ神奈川)は
2022年4月に開局50周年を迎えました

感謝のカタチは色々。tvkを愛する全ての皆さんに、
ありったけの「感謝のカタチ」をお届けします！



tvk開局50周年
特設サイト



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
— 創立指揮者 渡邊 暁雄 —

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第382回

横浜定期演奏会

382nd YOKOHAMA Subscription Concert

2022年11月26日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm November 26th (Sat.), 2022, at Yokohama Minato Mirai Hall



横浜音祭り 2022 パートナー事業



YOKOHAMA
OTOMATSURI



主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
後援：神奈川新聞、**tvk**、横浜アーツフェスティバル実行委員会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会



日本フィル横浜定期演奏会 50周年 〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉

もっと楽しく、もっと面白く、より深く！〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉をコンセプトに、歴史、美術、文学… 文化と音楽が響き合う新しいコンサートの楽しみ方を発信いたします。コンセプト監修に横浜国立大学教授の小宮正安氏を迎え、知れば知るほど楽しい時間をお届けしてまいります。

関連講座

朝日カルチャーセンター 横浜教室 (横浜駅東口ルミネ 8 階)

《第 3 弾》 2023 年 1 月 28 日 (土) 13:30 ~ 15:00

講座『社会文化史から読み解く「故郷」の響き』 講師：小宮正安 ほか

講座終了後、講座受講者限定 小宮先生と行く「みなとみらい探検」にご案内！
リニューアルオープンしたみなとみらいホールをじっくりご見学いただけます。

※申込みは朝日カルチャーセンターへ TEL:045-453-1122

朝日カルチャーセンター

横浜定期演奏会 50 周年 おめでとうございます

新しいことを始めたい、趣味を広げたい、学び直したい…

そんな気持ちを応援します！

朝日カルチャーセンターは、朝日新聞の文化事業として、
音楽をはじめ、教養、美術、健康、語学など多彩な講座を用意しています。
お問い合わせ・お申し込み・資料請求は…

横浜教室

☎ 045-453-1122
横浜西区高島 2-16-1 ルミネ横浜 8 階

朝カル 横浜 検索

Programs

チャイコフスキー：バレエ音楽《くるみ割り人形》op.71

Pyotr TCHAIKOVSKY: Ballet Music "The Nutcracker", op.71

第一幕 (約 45 分)

序曲

第 1 曲：情景 (クリスマス・ツリー)

第 2 曲：行進曲

第 3 曲：子供たちの小ギャロップと親たちの登場

第 4 曲：踊りの情景 (ドロッセルマイヤーの到着とプレゼント)

第 5 曲：情景とお祖父さんの踊り

第 6 曲：情景 (夜)

第 7 曲：情景 (ねずみと兵隊の戦い)

第 8 曲：情景 (冬の松林)

第 9 曲：雪片のワルツ

——— 休憩 (15 分) Intermission ———

第二幕 (約 40 分)

第 10 曲：情景 (お菓子の国へ)

第 11 曲：情景 (美しいお城)

第 12 曲：ディヴェルティスマン A・チョコレート B・コーヒー C・お茶 D・トレパック
E・葦笛 F・ジゴリーヌおばさんとポリシネル

第 13 曲：花のワルツ

第 14 曲：パ・ド・ドゥ A・イントラダ B・ヴァリアシオン i：タランテラ
C・ヴァリアシオン ii：金平糖の踊り D・コーダ

第 15 曲：終曲のワルツとアポテオーズ

指揮：角田鋼亮

Conductor: TSUNODA Kosuke

児童合唱：シンフォニーヒルズ少年少女合唱団

Chorus: Symphony Hills Boys and Girls Choir

コンサートマスター：扇谷泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地知也 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

「夢と現を映し出すメルヘン」^{うつつ}

横浜みなとみらいホールでの横浜定期演奏会の復活という記念すべき回。しかも、演奏会ではなかなか体験できない《くるみ割り人形》の全曲上演となる。なおこの《くるみ割り人形》、元々19世紀のドイツで話題となった小説に基づいているのだが、そこに描かれているのは様々な問題を抱えた現実の裏返しとしての夢、しかも美しさも恐ろしさも備えた夢に他ならない。そんな辛口の「夢と現を映し出すメルヘン」を、めきめきと頭角を現す角田鋼亮が、どのように料理するか。

Profile

指揮：角田鋼亮

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。

これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2016-2020年、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者。

2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会（シベリウス&山田耕筰作品）が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年 NISSAY OPERA 2019《ヘンゼルとグレーテル》（演出：広崎うらん）、日生劇場ファミリーフェスティバル 2019《アラジンと魔法のヴァイオリン》（演出：栗國淳）の全国ツアーに出演。2019年愛知県芸術文化選奨文化新人賞、2020年名古屋文化振興事業団第36回芸術創造賞を受賞。セントラル愛知交響楽団常任指揮者および仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。

<http://kosuketsunoda.com>

© Hikaru Hoshi



児童合唱：シンフォニーヒルズ 少年少女合唱団 (東京都葛飾区)

2004年に葛飾区の後援を受け発足。宮本益光氏を音楽監督として、現在、小学1年生から高校3年生までの約70名構成。

加藤昌則「あしたのうた」、「世界の作曲家音鑑」、信長貴富に委嘱した「リフレイン」を初演。また、毎年3月の定期演奏会をはじめ、葛飾区内施設での慰問演奏会等、地域に根ざした活動を行っている。2017年7月には神奈川県民ホール大ホールで行われた「ファンタスティックガラコンサート 2017 in summer」へ出演する等、区内外で積極的に活動している。



感染防止にご協力をお願いいたします

●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。●ホール内ではマスク（不織布など効果の確かなもの）を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。●開演前にはなるべくお席でお過ごしください。また時差退場のご協力をお願いいたします。●会場ロビーでの食事はお控えください。（ホール内は飲食禁止です）●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。●出演者へのプレゼント（お手紙・お花などを含む）、面会、楽屋入り待ち、出待ち等はご遠慮ください。●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。



今日のコンサートの聴きどころは？ 音楽評論家奥田佳道さんの面白解説を お楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



奥田佳道（おくだ よしみち）●1962年東京生まれ。ヴァイオリン、ドイツ文学、西洋音楽史を学ぶ。ウィーンに留学。「音楽の友」などに寄稿するほか、数々の音楽番組に出演。NHK日曜朝のラジオ「音楽の泉」第4代解説者。ラジオ深夜便「クラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ！」他。朝日カルチャーセンター新宿、中之島、北九州各講師。アサヒグループ芸術文化財団音楽部門選考委員。

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

お客様へのお願い

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

チャイコフスキー：バレエ音楽《くるみ割り人形》op.71

ピョートル・チャイコフスキー（1840-1893）の作品の中でも、いわゆる3大バレエ（白鳥の湖／眠りの森の美女／くるみ割り人形）は大変有名だ。ただし当時、バレエ音楽といえば劇場付きの作曲家が踊りのために作曲するのが通例であって、逆に人気の作曲家となっていたチャイコフスキーのような存在が筆をとることは異例だった。絢爛豪華な雰囲気や美しい旋律に彩られた彼の音楽は、バレエ音楽の歴史を変えた作品群とも言える。

そんな三大バレエの中でも、最後に作曲されたのが《くるみ割り人形》だ。ドイツ後期ロマン派の奇才と言われる E.T.A. ホフマンの童話小説『くるみ割り人形とねずみの王様』が原作となっている。ただし、バレエ版が依拠しているのは、『三銃士』で有名なフランスのアレクサンドル・デュマ1世が、ホフマンのそれを翻案した、『はしばみ割り物語』。奇怪な幻想性が色濃いホフマン原作に比べて、子供も楽しめる安全安心な夢満載の内容となっている。このデュマ改作版に基づき、サンクトペテルブルクはマリインスキー劇場のバレエマスターを務めていたマリウス・プティパが、バレエ版の構成を担当した。

作曲は1891年に始められているが、その間、チャイコフスキーはアメリカに演奏旅行に出かけ、その途上のパリの楽器店でチェレスタという新しい楽器に出会っている。彼は、早速この楽器ならではの幻想的な音色を、メルヘンティックな世界観溢れる作品でクライマックスの1つを成す、「金平糖の踊り」へ取り入れたのだった。さらに第1部の終結部では、現世を超越したこの世ならざる響きをだすため、児童合唱の歌声も導入している。作品そのものは、1892年にマリインスキー劇場で初演されている。

ところで《くるみ割り人形》は、チャイコフスキー自身が編んだ組曲が有名だ。ただし第2幕のお菓子の国の音楽が中心になっており、第1幕からは幕開きに置かれた「小序曲」と、クリスマス・パーティにお客が集う場面で演奏される「行進曲」が採られているのみ。

だがあらすじを見ても分かるように、第1幕は第2幕に比べてはるかにストーリー性に富んでおり、それに合わせてチャイコフスキーが書いた音楽も、きわめて劇的である。特に夜中を告げる鐘が鳴り、ねずみの大群とくるみ割り人形が戦い、その後クララがお菓子の国に旅立ってゆくシーンは、音楽だけを聴いていても話の展開がはっきりと分かるほど。なお、ここでのくるみ割り人形が王子に変容を遂げる場面は、チャイコフスキーの絶筆となった交響曲第6番《悲愴》第1楽章に登場する悲痛な旋律を、そのまま長調にしたものとなっている。《くるみ割り人形》も交響曲第6番も、チャイコフスキーの

早すぎる晩年の作品であることを考える時、第1部の最後の最後で「この世ならざる世界」に対する恐れに混じった憧れを、彼が音楽に込めたと考えることもできるのではないか。

一転して第2幕は、ストーリーに合わせた流れよりも、様々なお菓子を念頭に置いた描写的な音楽のオンパレードとなる。（これが初演当時は、退屈であるという批判も生んだ。）なお後半に登場する有名な「花のワルツ」は、全体を締めくくる曲ではない。この後に、王子と、お菓子の国の女王である金平糖の精との踊り（その中核をなすのが「金平糖の踊り」である。）が続く。特に彼らの踊りの最初に登場する「イントラダ」は、階名で「ドシラソファミレド」という単純な下降音階を基にしながらも、壮絶な美しさに溢れた名曲だ。

バレエのあらすじは、以下のようになっている。

【第1幕】

少女クララの家では、クリスマス・イヴを祝うパーティが催されている。様々な招待客が登場する中、クララは、名付け親のドロツセルマイヤーからくるみ割り人形をプレゼントされるが、兄フリッツに壊されてしまう。やがてパーティはお開きとなり、客たちは帰る。真夜中、くるみ割り人形が気になったクララは、人形の置かれている大広間へ降りていくと、ねずみの王が大群を率いて押し寄せ、くるみ割り人形の指揮する兵隊人形と戦争を始める。窮地に陥ったくるみ割り人形を救うべく、クララはスリッパをねずみの王に投げつけ、ねずみの軍勢を退散させる。

その瞬間、くるみ割り人形は美しい王子の姿へと変わり、命を助けてくれた御礼をしたいと申し出る。2人は雪の降りしきる中を、お菓子の国へと旅立つ。

【第2幕】

クララを歓迎するお菓子の精たちの踊りが、次々と繰り広げられる。金平糖の女王と王子によって踊られる「イントラダ」は、壮大なスケール感とロマンティックな叙情が圧巻の1曲。続いて男性ダンサーによって踊られるイタリアの民俗舞曲「タランテラ」。チェレスタの澄み切った音色がイメージにぴったりの「金平糖の踊り」。そして華やかにコーダへと向かう。

クララと王子を囲んで喜びに満ちたワルツが踊られ、音楽はクライマックスを迎える。曲想はおだやかに変化し、ストーリーはいよいよ最後のクライマックス（アポテオーズ＝極致）へ。クララをとりまく魔法が消えていき、彼女は幸せな夢から覚める。自分が自宅のベッドの中に横たわっていることに気付いたクララは、すべては夢だったことを知り、かたわらに置いていたくるみ割り人形を抱きしめるのだった。

楽器編成 フルート3（ピッコロ持替2）、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ハーブ2、チェレスタ1、ティンパニ1、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、タンブリン、カ斯塔ネット、グロッケンシュピール、ラチェット、児童合唱、弦楽5部。



歴史でひもとく! ～クラシックこぼれ話 by 小宮正安



元祖『くるみ割り人形』

曲目解説にも書いた通り、バレエ《くるみ割り人形》には元ネタがある。ドイツのホフマンによる小説『くるみ割り人形とねずみの王様』（以下『くるみ割り人形』と略）がそれ。

まずはホフマンだが、彼は小説家・文筆家であると同時に、作曲家や指揮者としても活躍し、音楽評論をしたり絵を描いたりもした。

しかも彼が書く小説は、自由に物が言えない19世紀前半の保守反動の世界を避けるかのように、空想の世界に沈潜する「幻想怪奇小説」とでも呼べるもの。というわけで、小説版『くるみ割り人形』も、チャイコフスキーが曲を付けたバレエ版とは異なっており、不可思議な内容になっている。

何しろ、主人公の少女にくるみ割り人形をプレゼントしたドロッセルマイヤーという人物が、奇怪な外見や雰囲気を持っていて、「法律顧問官」という肩書の持ち主だが、魔術師めいたオーラを放っており、くるみ割り人形の破壊も、ねずみの王の襲撃も、実は彼が裏から操っていたのではないかと、と思われるほど。

そして主人公の少女が、現実と幻想の区別のつかない状態の中に始終迷いこんでしまう。クリスマスの夜、くるみ割り人形をねずみの襲撃からかばうシーンでは、くるみ割り人形が仕舞われたガラスケースの中に腕を突っ込んでしまい、血だらけのまま倒れていたところを、両親に助け出されるといった態。

しかもこのねずみの襲撃が、何晩にもわたってしつこく繰り返される。少女がようやくねずみを退治し、くるみ割り人形に夢の世界に連れて行ってもらうものの、翌朝その話を両親にしても気味悪がられるばかり。最終的に少女は、魔法を解かれたくるみ割り人形（と称するドロッセルマイヤーの甥）と結婚し、夢の王国のお妃になってハッピーエンドとはなるのだが、その後彼女が現実世界に戻ってきたのかどうかは分からない。

このように小説版『くるみ割り人形』では、愛らしさよりも不気味さが色濃いのだが、やがてフランスの小説家として名高いデュマ1世が、当作品をフランス語で翻案した。そしてそれを基に、チャイコフスキーの《くるみ割り人形》が生まれた。さて、皆様はどちらの『くるみ割り人形』がお好きだろうか。小説版、それともデュマの翻案を活かしたバレエ版？

（小説版の『くるみ割り人形』では、種村季弘訳『くるみ割り人形とねずみの王様』河出文庫が入手しやすい。）



小説版『くるみ割り人形』への挿絵
ガイスラー画 19世紀

Next YOKOHAMA

第383回横浜定期演奏会 ～オーケストラ曲は聞い続ける～

2022年12月17日(土) 17:00 横浜みなとみらいホール

指揮: 太田 弦

© ai ueda

ソプラノ: 盛田麻央 アルト: 杉山由紀

テノール: 樋口達哉 バリトン: 黒田祐貴

合唱: 東京音楽大学

ベートーヴェン: 《エグモント》序曲

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》二短調 op.125



太田 弦

S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥7,000 C ¥6,000 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥3,500

※ Ys席はS席以外から選べます。

※ 車いすおよび障害者手帳をお持ちの方は、サービスセンターへお問い合わせください。

好評発売中!

第399回名曲コンサート

2023年1月15日(日) 14:00

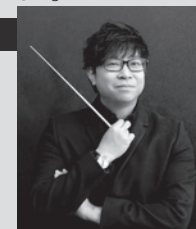
指揮: カーチュン・ウォン [首席客演指揮者]

ギター: 村治佳織

ロドリゴ: アランフェス協奏曲

ベートーヴェン: 交響曲第3番《英雄》

© Angie Kremer



カーチュン・ウォン

© Ayako Yamamoto



村治佳織

SS ¥8,000 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,500 P ¥4,000 Gs (65歳以上) ¥4,000
Ys (25歳以下) ¥1,500

※ 文化庁子供文化芸術活動支援事業

第747回東京定期演奏会

2023年1月20日(金) 19:00

2023年1月21日(土) 14:00

指揮: カーチュン・ウォン [首席客演指揮者]

伊福部昭: シンフォニア・タプカーラ

バルトーク: 管弦楽のための協奏曲

© Angie Kremer



カーチュン・ウォン

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組！『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54～23:00 (第3週、第4週は再放送)。登場するのは首席指揮者ピエタリ・インキネン&山田和樹。ぜひご覧ください！

■本日の公演はカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

■eチケット♪リニューアルのお知らせ

3月開催公演以降は新しくなったeチケット♪で販売します。11月16日頃お届けしたメールの手順に沿ってお手続きをお願いいたします。

12/1 発売

2022/23
東京・横浜
春季定期会員券



12/14 発売

【第245回芸劇シリーズ】
2023年3月18日(土) 16:00 東京芸術劇場

『題名のない音楽会』でもおなじみのエリック・ミヤシロ・中川英二郎・本田雅人が結成した Super Brass Stars & 日本フィルが誇るトランバッター、オッタピアーノ・クリスト・フォリによる魅惑のステージ

S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000 Gs (65歳以上) ¥4,000
Ys (25歳以下) ¥1,500

もうすぐ
発売！

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック <https://members.tvuch.com/>



↑詳細はこちら

1,000円
3ヶ月間
何度でも！

アーカイブ配信中

- 指揮：小林研一郎〔桂冠名誉指揮者〕 ドヴォルジャーク：交響曲第8番、《新世界より》 **最新！**
■指揮：ピエタリ・インキネン〔首席指揮者〕 ベートーヴェン：交響曲第8番、第7番
■指揮：広上淳一〔フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)〕 ブルックナー：交響曲第7番 他

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。
●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送料はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。
心より御礼申し上げます。

9月の寄付者 小野綾子 匿名5名
10月の寄付者 匿名1名

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011
東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日11時～17時)
FAX: 03-5378-6161 (24時間)
e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員の特典

横浜ベイホテル東急 (横浜みなとみらいホール向かい) にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食：下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(6名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールディダイニング「カフェ トスカ」/フレンチ料理「クイーン・アリス」/ラウンジ「ソマーハウス」
日本料理「大志満」/中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッドマン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

- 首席指揮者/ピエタリ・インキネン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) /広上淳一
- 首席客演指揮者/カーチュン・ウォン

公式Twitter
@Japanphil公式
アカウント

ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋 アシスタント・コンサートマスター 千葉清加 第1ヴァイオリン □伊藤太郎 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 柳 渚 竹歳夏鈴 谷崎大起 田村昭博 中谷郁子 西村優子 平井幸子 本田純一 第2ヴァイオリン 遠藤直子 大貫聖子 岡田紗弓 加藤祐一 ○神尾あずさ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣紗弓 豊田早織 町田 匡 山田千秋 ヴィオラ ☆安達真理 小俣由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤雅奈	ソロ・チェロ 菊地知也 チェロ 石崎美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤哲弥 久保公人 山田智樹 横山 桂 コントラバス 鈴木優介 ◎高山智仁 成澤美紀 ○宮坂典幸 山口雅之 フルート 齋藤光晴 難波 薫 ◎真鍋恵子 オーボエ 佐竹真登 ◎杉原由希子 ○松岡裕雅 クラリネット ◎伊藤寛隆 ○楠木 慶 照沼夢輝 堂面宏起 ファゴット 大内秀介 ◎鈴木一志 ○田吉佑久子 中川日出鷹 ホルン 伊藤 舜 宇田紀夫 ◎信末碩才 原川翔太郎 ☆丸山 勉 村中美菜	ソロ・トランペット オッタピアーノ・クリスト・フォリ トランペット 大西敏幸 中里州宏 中務朋子 星野 究 トロンボーン 伊藤雄太 ○岸良開城 バス・トロンボーン 中根幹太 テューバ 柳生和大 ティンパニ ◎エリック・バケラ パーカッション 大河原 渉 ハープ 松井久子 楽団長 中根幹太 チーフスティーヂマネージャー 阿部紋子 ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔 チーフインスペクター 佐藤駿一郎 インスペクター 宇田紀夫 鈴木優介 ライブラリアン 鬼頭さやか 杉本哲也 ◎首席奏者 ◎副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間	理事長 (代表理事) 平井俊邦 副理事長 (代表理事) 五味康昌 常務理事 (代表理事) 後藤朋俊 常務理事 (代表理事) 中根幹太 常務理事 (代表理事) 福井英次 理事 石井啓一郎 遠藤 滋 佐々木経世 田村浩章 戸所邦弘 福本ともみ 監事 上條貞夫 評議員会会長 加藤丈夫 評議員 青井 浩 安孫子 正 荒蒔康一郎 石塚邦雄 石村 等 稲垣 尚 内川清雄 大塚宣夫 海堀周造 梶浦卓一 河北博文 喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 島田精一 津田義久 西澤 豊 野間省伸 葉田順治 村上典吏子 山口多賀幸 名誉顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔 アドバイザリー・ボード 大島 剛 小野敏夫 小網忠明 後藤 茂 武田隆男 田邊 稔 溝口文雄 コミュニケーション・ディレクター マイケル・スペンサー マネジメント・スタッフ 浅見浩司 磯部一史 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 荻島里帆 賀澤美和 柏熊由紀子 小須田明 佐々木文雄 澤田智夫 篠崎めぐみ 清水佑香子 杉山綾子 杉山まどか 高橋勇人 田中正彦 槌谷祐子 中村沙緒里 西田大輔 長谷川珠子 馬場桃子 藤田千明 別府一樹 益満行裕 宗澤晶子 山岸淳子 吉岡浩子 シニア・パートナー 新井康允 伊波 睦 永島義郎 南部洋一	団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 浅井俊雄 新井豊治 石井啓一郎 伊藤恒男 伊波 睦 遠藤 功 遠藤剛史 大石 修 大川内 弘 大味 修 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 菊田秋一 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 斎藤千種 佐々木裕司 佐藤玲子 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 田沢 烈 立川和男 堂阪俊子 富樫尚代 豊田尚生 中川二朗 永田健一 中務孝彦 奈切敏郎 橋本 洋 橋井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克己 松本伸二 三谷昭平 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 山本辰夫 渡辺智雄
---	---	---	--	---

(2022年11月1日現在)